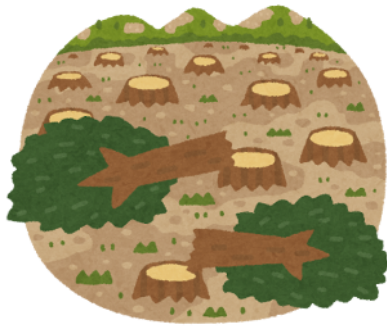


## 森林を伐採する前に

森林を伐採する際には、下記の事項に十分留意して計画し施業を行ってください。無計画な伐採は、森林環境の破壊や災害の要因となり、通行者や近隣の住人に被害を及ぼす可能性があります。

- 将来どのような森林にするのかを検討しましょう。
- 森林の役割を理解し、配慮して施業を計画・実施しましょう。



計画なく皆伐すると、将来ハゲ山になる可能性も。



森林は災害を防ぐ役割もあります。

- 地形や気候に合った施業を計画・実施しましょう。
- 近隣の森林所有者や下流の住宅などに事前に計画を説明するなどし、施業の理解を得ましょう。



急傾斜地における伐採木を用いての土留め工



## 伐採及び伐採後の留意事項

### ●伐採区域について

- ・伐採事業者は、伐採開始前に森林所有者と協議を行い、林地の保全、雪崩、落石、風害等の防止等のため、溪流周辺や尾根筋について保護樹帯を設置することや、野生生物の営巣に重要な空洞木の保護を図ることなど、伐採の適否を慎重に検討する。
- ・伐採を行う際には、土地の所有界を超えた伐採をしないよう、あらかじめ区域の明確化を行い、誤伐を防ぐ。
- ・森林の多面的機能の発揮の観点から、伐採跡地が連続しないよう、伐採跡地間の距離として、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保する。

### ●作業実行上の配慮について

- ・伐採事業者は、一時的に使用する路網、土場では、その後の植生回復に支障を来さぬよう土壌攪拌に注意する。
- ・民家、一般道等への伐倒木、転石等の落下防止や、早朝等における騒音等に注意を払う。
- ・現場に立て看板を設置する等により、現場内の安全確保、事故防止に努める。
- ・地域住民の通行する道路では、作業が通行の妨げにならないよう十分に注意を払うとともに、運材のための道路の使用について必要な許可、地域の理解を得る。

### ●枝条残材、廃棄物の処理について

- ・伐採事業者は、枝条残材を利用しない場合、林地で雨水を堰き止め崩壊を誘発すること等がないよう片付け方に十分注意するとともに、発生量を見積もって存置箇所の準備や処理方法等を想定しておき、巨大な枝条残材の山積みは避ける。
- ・廃棄する資材、廃油等は全て持ち帰り、適切に処分する。

(『伐採作業と造林作業の連携等の促進について(29 林整整第 977 号)』より抜粋)